

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和3年10月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）、騒音・低周波空気振動】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9
3. 騒音・低周波空気振動	II - 10

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和3年10月（大気質、水質、騒音・低周波空気振動）の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	10月1日～31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	10月12日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

表-1(3) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 騒音・低周波空気振動）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点(大阪南港野鳥園)	10月26日～27日	2回/年 (4月、10月)

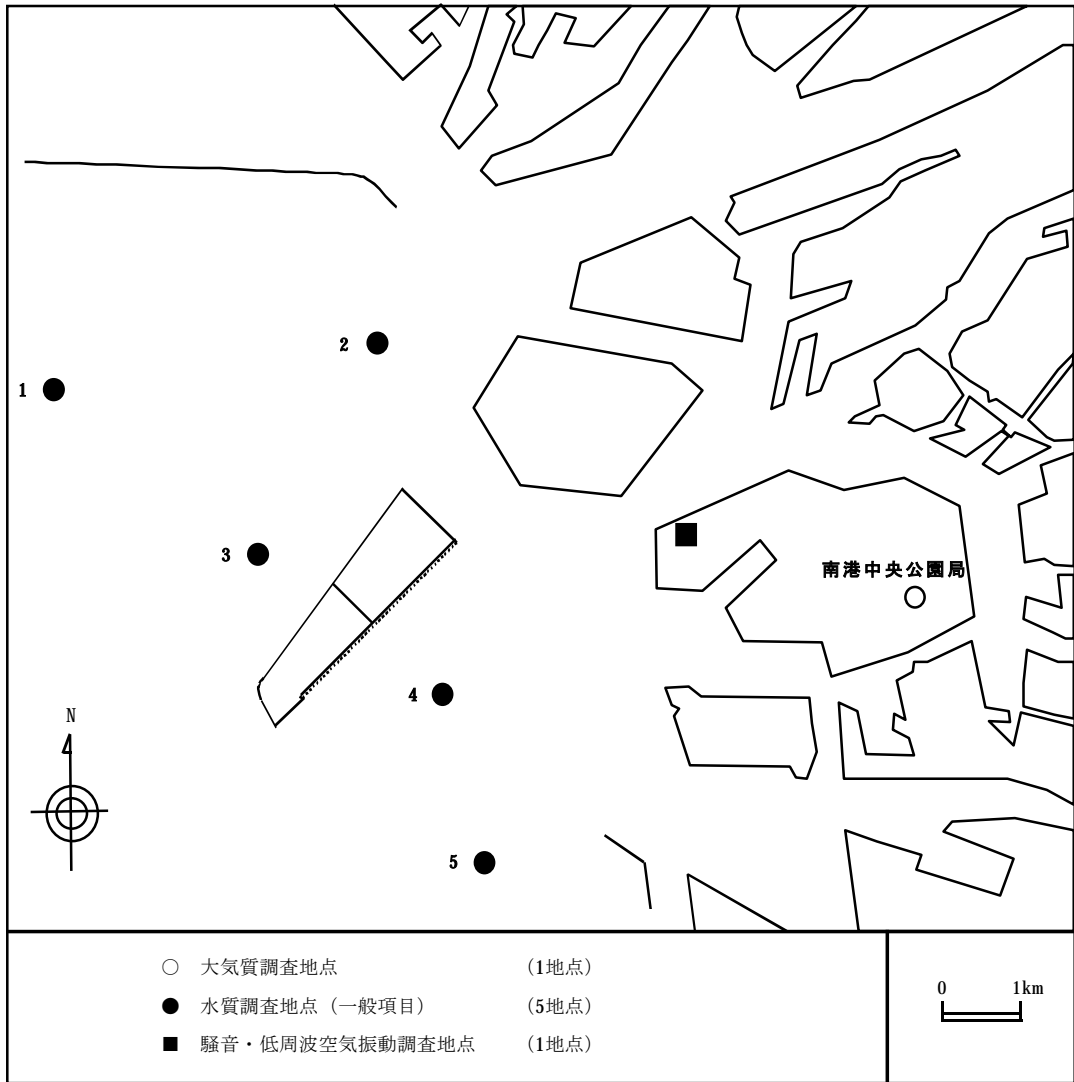
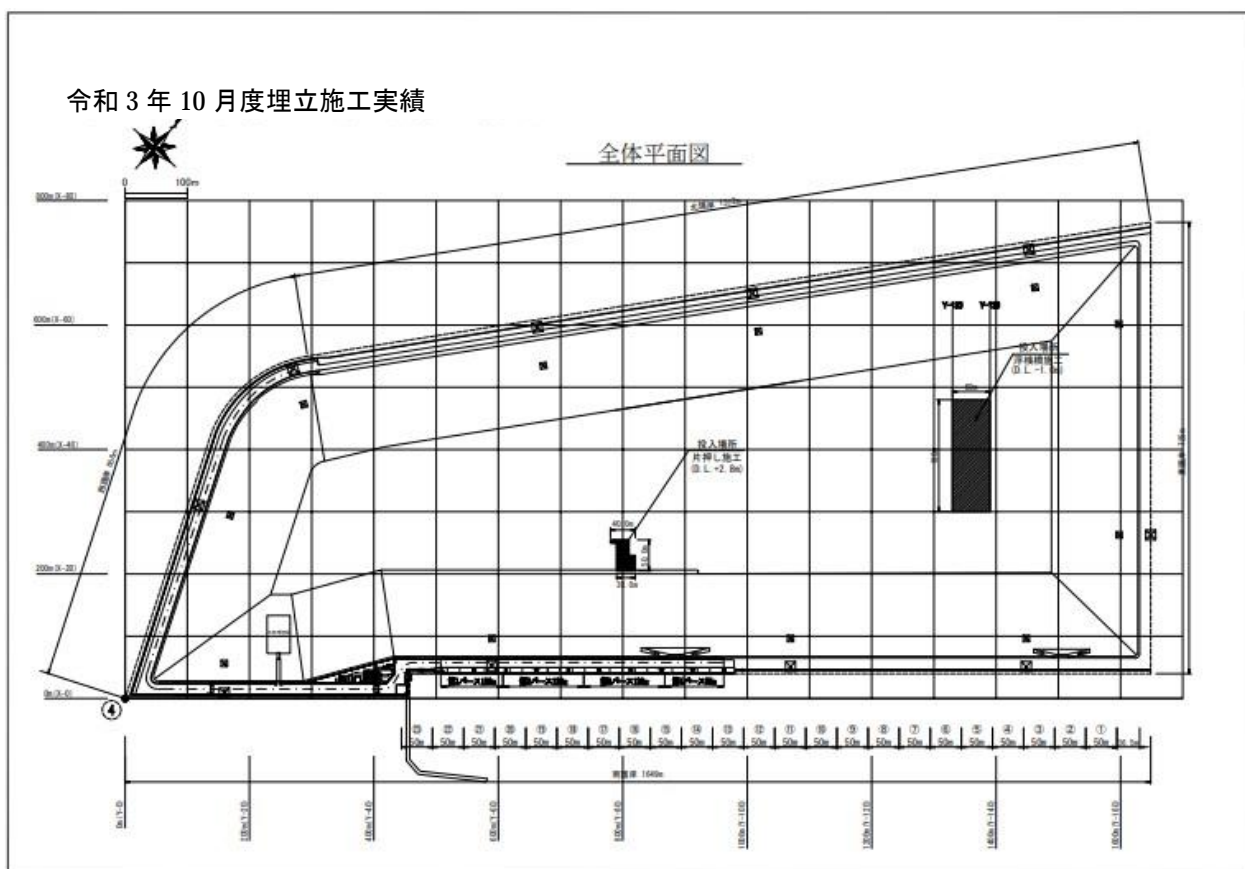


図-1 大気質・水質(一般項目)、騒音・低周波空気振動の調査地点

2. 工事の実施状況

令和3年10月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
6,225,918	44.5

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.004ppm、1時間値の最高値は 0.005ppm であり、環境基準値を下回っていた。

- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.018ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.034ppm であり、環境基準値を下回っていた。

- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.012mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.018mg/m³、1時間値の最高値は 0.050mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.1～8.4、下層は 7.9～8.1 であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。環境基準値を上回った調査結果は、上層の調査地点 1 (8.4) 及び調査地点 2 (8.4) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 7.7～8.6 であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 3.7～4.9mg/L、下層で 1.8～2.5mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (4.3mg/L)、調査地点 2 (4.9mg/L) 調査地点 3 (3.7mg/L)、調査地点 4 (4.0mg/L) 及び調査地点 5 (3.9 mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】
溶存酸素量 (DO) は上層で 5.2～7.3mg/L、下層で 2.5～5.1mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では大部分の調査地点において環

境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層の調査地点 1 (2.5mg/L)、調査地点 2 (3.5mg/L)、調査地点 4 (3.0mg/L) 及び調査地点 5 (4.2mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.43~0.65mg/L、下層で 0.29~0.50mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.63mg/L) 及び調査地点 2 (0.65mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.069~0.11mg/L、下層で 0.046~0.089mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では大部分の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.085mg/L)、調査地点 2 (0.11mg/L)、調査地点 3 (0.073mg/L)、調査地点 4 (0.069mg/L) 及び調査地点 5 (0.073mg/L)、下層の調査地点 1 (0.087mg/L)、調査地点 2 (0.089mg/L)、調査地点 4 (0.073mg/L) 及び調査地点 5 (0.060mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020mg/L~0.25mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~3 度(カリン)、下層で報告下限値未満 (<1 度(カリン)) ~2 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~4mg/L、下層で報告下限値未満 (<1mg/L) ~2mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 4.7~13µg/L、下層で 0.3~0.8µg/L の範囲であった。

(3) 騒音・低周波空気振動 [騒音・振動様式第1～4号]

1) 騒音【環境基準値：昼間 60 デシベル以下、夜間 50 デシベル以下】

騒音レベル (L_{Aeq}) は、昼間 (午前 6 時～午後 10 時) は平均値 50 デシベル、夜間 (午後 10 時～午前 6 時) は平均値 43 デシベルであり、昼間・夜間ともに環境基準値以下であった。

2) 低周波空気振動

低周波空気振動の音圧レベル (L_{50}) は、作業時間帯 (午前 9 時～午後 6 時) において平均値 72 デシベルであり、環境影響評価時の予測値 (73 デシベル) を下回る値であった。図-3 に低周波空気振動の音圧レベルの時間推移を示す。

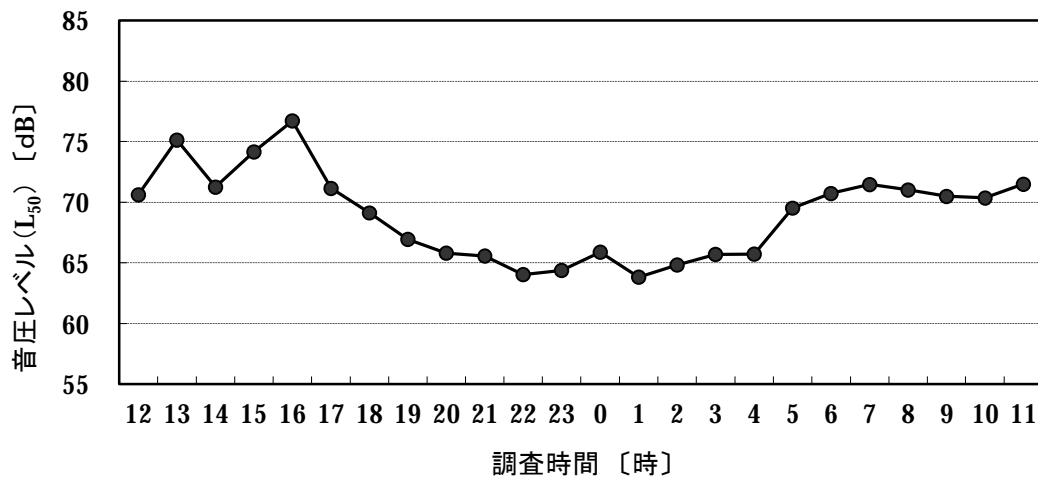


図-3 低周波空気振動の音圧レベル(L_{50})の時間推移

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75%**水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（**n** は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前 6 時～午後 10 時 夜間：午後 10 時～午前 6 時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目	区 分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [令和3年10月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和3年10月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (金)	0.004	0.004
	2 (土)	0.004	0.005
	3 (日)	0.003	0.004
	4 (月)	0.004	0.005
	5 (火)	0.004	0.005
	6 (水)	0.004	0.004
	7 (木)	0.003	0.005
	8 (金)	0.003	0.004
	9 (土)	0.004	0.005
	10 (日)	0.003	0.004
別	11 (月)	0.003	0.004
	12 (火)	0.003	0.003
	13 (水)	0.003	0.004
	14 (木)	0.003	0.004
	15 (金)	0.003	0.005
	16 (土)	0.003	0.004
	17 (日)	0.002	0.002
	18 (月)	0.002	0.004
	19 (火)	0.003	0.005
	20 (水)	0.003	0.004
値	21 (木)	0.004	0.004
	22 (金)	0.004	0.005
	23 (土)	0.003	0.004
	24 (日)	0.003	0.005
	25 (月)	0.003	0.004
	26 (火)	0.003	0.004
	27 (水)	0.003	0.004
	28 (木)	0.003	0.005
	29 (金)	0.002	0.003
	30 (土)	0.003	0.004
	31 (日)	0.003	0.003
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.004	
1時間値の最高値 (ppm)		0.005	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和3年10月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (金)	0.003	0.005
	2 (土)	0.002	0.003
	3 (日)	0.002	0.003
	4 (月)	0.007	0.037
	5 (火)	0.004	0.019
	6 (水)	0.007	0.045
	7 (木)	0.005	0.024
	8 (金)	0.007	0.043
	9 (土)	0.004	0.014
	10 (日)	0.003	0.010
別	11 (月)	0.005	0.011
	12 (火)	0.005	0.017
	13 (水)	0.004	0.013
	14 (木)	0.003	0.005
	15 (金)	0.005	0.019
	16 (土)	0.003	0.013
	17 (日)	0.002	0.002
	18 (月)	0.004	0.015
	19 (火)	0.004	0.012
	20 (水)	0.003	0.005
値	21 (木)	0.004	0.007
	22 (金)	0.005	0.015
	23 (土)	0.002	0.003
	24 (日)	0.003	0.007
	25 (月)	0.008	0.038
	26 (火)	0.015	0.112
	27 (水)	0.015	0.044
	28 (木)	0.013	0.065
	29 (金)	0.004	0.014
	30 (土)	0.009	0.053
	31 (日)	0.003	0.008
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.015	
1時間値の最高値 (ppm)		0.112	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和3年10月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (金)	0.016	80.8	0.027
	2 (土)	0.014	84.8	0.026
	3 (日)	0.016	86.9	0.034
	4 (月)	0.030	76.2	0.076
	5 (火)	0.022	84.1	0.048
	6 (水)	0.033	78.3	0.088
	7 (木)	0.023	80.6	0.055
	8 (金)	0.027	76.0	0.071
	9 (土)	0.021	82.6	0.041
	10 (日)	0.017	83.5	0.037
別	11 (月)	0.023	80.2	0.039
	12 (火)	0.025	79.5	0.043
	13 (水)	0.022	80.8	0.046
	14 (木)	0.021	86.0	0.031
	15 (金)	0.028	81.6	0.049
	16 (土)	0.019	81.4	0.044
	17 (日)	0.007	70.4	0.013
	18 (月)	0.019	79.0	0.044
	19 (火)	0.025	82.4	0.040
	20 (水)	0.014	79.3	0.025
値	21 (木)	0.021	83.3	0.037
	22 (金)	0.023	78.3	0.049
	23 (土)	0.012	81.7	0.022
	24 (日)	0.019	84.5	0.031
	25 (月)	0.034	74.9	0.080
	26 (火)	0.040	61.7	0.158
	27 (水)	0.049	68.8	0.075
	28 (木)	0.034	60.5	0.098
	29 (金)	0.024	82.9	0.048
	30 (土)	0.033	72.9	0.083
	31 (日)	0.019	85.7	0.036
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 (ppm)		0.024		
日平均値の最高値 (ppm)		0.049		
1時間値の最高値 (ppm)		0.158		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		77.6		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値} \frac{\text{NO}_2}{(\text{NO}+\text{NO}_2)} =$$

(NO₂及びNOが同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO₂及びNOが同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和3年10月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)	
日	1 (金)	0.009	0.019	
	2 (土)	0.013	0.017	
	3 (日)	0.016	0.043	
	4 (月)	0.017	0.024	
	5 (火)	0.018	0.026	
	別	6 (水)	0.017	0.032
		7 (木)	0.016	0.044
		8 (金)	0.018	0.035
		9 (土)	0.015	0.021
		10 (日)	0.012	0.030
値	11 (月)	0.013	0.024	
	12 (火)	0.008	0.020	
	13 (水)	0.007	0.010	
	14 (木)	0.008	0.011	
	15 (金)	0.011	0.018	
	16 (土)	0.014	0.041	
	17 (日)	0.004	0.007	
	18 (月)	0.006	0.009	
	19 (火)	0.010	0.022	
	20 (水)	0.006	0.011	
	21 (木)	0.006	0.009	
22 (金)	0.007	0.010		
23 (土)	0.008	0.013		
24 (日)	0.012	0.018		
25 (月)	(0.011)	(0.016)		
26 (火)	(0.007)	(0.020)		
27 (水)	0.018	0.050		
28 (木)	0.016	0.050		
29 (金)	0.010	0.015		
30 (土)	0.012	0.019		
31 (日)	0.013	0.019		
有効測定日数 (日)		29		
測定時間 (時間)		717		
月平均値 (mg/m ³)		0.012		
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.018		
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.050		
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0		
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和3年10月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (金)	1.0	1.6	NW	NW
	2 (土)	0.9	2.9	WSW	NW
	3 (日)	0.7	1.3	NE	ESE
	4 (月)	0.8	1.6	WNW	WNW
	5 (火)	0.8	1.5	SW	WSW
別	6 (水)	0.6	1.0	N	N
	7 (木)	0.8	2.1	WSW	WSW
	8 (金)	0.6	1.7	W	NW
	9 (土)	0.7	1.7	SW, W	W
	10 (日)	0.7	1.7	SE	WNW
	11 (月)	0.6	1.3	WNW	WNW
	12 (火)	0.7	1.3	N	N
	13 (水)	0.8	1.2	NW	N
	14 (木)	0.7	1.3	WNW	NNE
	15 (金)	0.6	1.2	WNW	N
値	16 (土)	0.8	1.6	WSW	WNW
	17 (日)	1.0	1.7	NNE, N	N
	18 (月)	0.9	2.3	SE	ESE
	19 (火)	0.7	1.4	WNW, NW	ENE
	20 (水)	1.1	2.3	WNW	NW
	21 (木)	0.6	1.2	E	N
	22 (金)	0.8	1.6	SW, WSW	N
	23 (土)	0.8	1.6	NW	NW
	24 (日)	0.6	1.0	ESE, NE	N
	25 (月)	0.8	1.9	ENE	ENE
	26 (火)	0.6	1.1	NW	NNW
	27 (水)	0.5	1.1	ESE	E
	28 (木)	0.9	2.1	N	N
	29 (金)	0.8	1.5	N	NNE
	30 (土)	0.5	1.1	ESE	ESE
	31 (日)	0.5	0.9	ENE	ENE
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		0.7			
月最大風速 (m/s)		2.9			
月最多風向 (16方位)		NW			

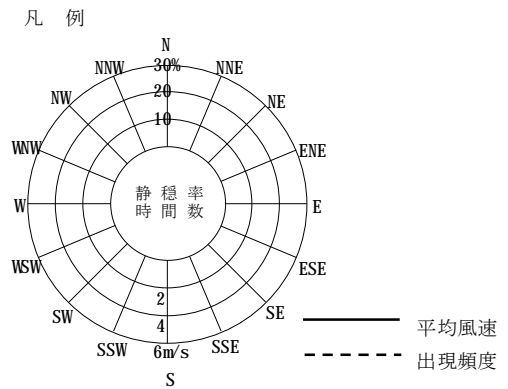
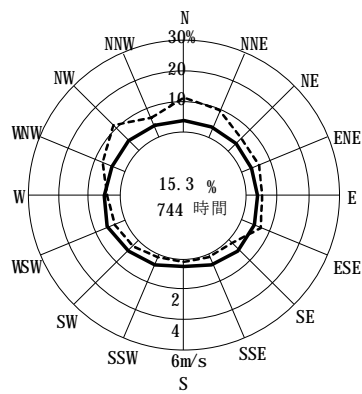
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和3年10月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	70	45	43	36	50	12	6	5	7	19	26	32	59	85	51	84	114	744
頻度 (%)	9.4	6.0	5.8	4.8	6.7	1.6	0.8	0.7	0.9	2.6	3.5	4.3	7.9	11.4	6.9	11.3	15.3	-
平均風速 (m/s)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.9	0.9	0.7	0.5	0.7	0.9	1.2	1.0	0.9	0.9	0.8	0.8	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和3年10月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[令和3年10月分]

調査日：令和3年10月12日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	8:38	8:00	8:58	9:58	9:42	-	-	
透明度 [m]	1.7	1.8	2.2	2.0	2.1	1.7 ~ 2.2	2.0	
水温 [°C]	24.4	24.6	24.3	24.5	24.4	24.3 ~ 24.6	24.4	
	23.7	23.8	23.8	23.9	23.9	23.7 ~ 23.9	23.8	
塩分 [-]	26.5	24.6	28.7	27.2	29.8	24.6 ~ 29.8	27.4	
	31.4	31.6	31.4	31.5	31.5	31.4 ~ 31.6	31.5	
濁度 [度(カリン)]	3	3	2	3	1	1 ~ 3	2	
	1	2	1	<1	<1	<1 ~ 2	1	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	3	4	3	4	2	2 ~ 4	3	
	1	2	<1	<1	<1	<1 ~ 2	1	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.4	8.4	8.3	8.3	8.1	8.1 ~ 8.4	-	
	7.9	7.9	8.1	7.9	8.0	7.9 ~ 8.1	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.3	4.9	3.7	4.0	3.9	3.7 ~ 4.9	4.2	
	2.3	2.5	1.8	2.5	1.8	1.8 ~ 2.5	2.2	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	7.3	7.2	6.3	7.3	5.2	5.2 ~ 7.3	6.7
		2.5	3.5	5.1	3.0	4.2	2.5 ~ 5.1	3.7
	飽和度 [%]	102	100	89	103	74	74 ~ 103	94
		35	50	73	43	60	35 ~ 73	52
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.63	0.65	0.43	0.59	0.45	0.43 ~ 0.65	0.55	
	0.36	0.50	0.29	0.30	0.29	0.29 ~ 0.50	0.35	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.085	0.11	0.073	0.069	0.073	0.069 ~ 0.11	0.082	
	0.087	0.089	0.046	0.073	0.060	0.046 ~ 0.089	0.071	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	9.1	13	7.9	8.6	4.7	4.7 ~ 13	8.7	
	0.5	0.4	0.3	0.8	0.4	0.3 ~ 0.8	0.5	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

騒音・振動様式第1号（埋立地関連）

環境騒音調査結果総括表[令和3年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和3年10月26日午後0時～10月27日午後0時

時間 区分	騒音レベル (デシベル)												主音源
	L _{A5}			L _{A50}			L _{A95}			L _{Aeq}			
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	
昼間	52	45	60	45	41	49	42	39	45	50	42	55	鳥、虫、車両、船舶
夜間	45	43	50	42	41	45	41	39	43	43	41	48	虫、車両、船舶

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

2. 時間区分は、昼間は午前6時から午後10時、夜間は午後10時から午前6時までの間とする。

環境騒音調査結果総括表[令和3年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和3年10月26日～27日

調査時間	時間の区分	地域の類型	環境基準値	騒音レベル (デシベル)				主音源
				L _{A5}	L _{A50}	L _{A95}	L _{Aeq}	
12:00	昼間	C	60dB	49	41	39	45	鳥、虫、車両、船舶
13:00				51	44	41	49	鳥、虫、車両、船舶
14:00				52	45	43	49	鳥、虫、車両、船舶
15:00				55	48	44	50	鳥、虫、車両、船舶
16:00				57	49	45	53	鳥、虫、車両、船舶
17:00				52	47	44	49	鳥、虫、車両、船舶
18:00				50	46	42	48	虫、車両、船舶
19:00				47	43	41	44	虫、車両、船舶
20:00				46	42	41	43	虫、車両、船舶
21:00				45	42	39	42	虫、車両、船舶
22:00	夜間	C	50dB	43	41	39	41	虫、車両、船舶
23:00				44	41	39	41	虫、車両、船舶
00:00				45	42	40	43	虫、車両、船舶
01:00				45	42	40	43	虫、車両、船舶
02:00				44	41	40	42	虫、車両、船舶
03:00				45	43	41	43	虫、車両、船舶
04:00				46	43	42	44	虫、車両、船舶
05:00				50	45	43	48	鳥、虫、車両、船舶
06:00	昼間	C	60dB	57	46	44	51	鳥、虫、車両、船舶
07:00				57	46	43	52	鳥、虫、車両、船舶
08:00				60	45	42	55	鳥、虫、車両、船舶
09:00				57	46	43	52	鳥、虫、車両、船舶
10:00				52	45	42	48	鳥、虫、車両、船舶
11:00				52	44	41	47	鳥、虫、車両、船舶
最小値				43	41	39	41	
最大値				60	49	45	55	
平均値				50	44	42	48	

注：1. L_{A5}、L_{A50}、L_{A95}の平均値は算術平均値、L_{Aeq}の平均値はパワー平均値である。

注：2. 環境基準はL_{Aeq}である。

低周波空気振動調査結果総括表[令和3年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日時：令和3年10月26日午後0時～10月27日午後0時

音圧レベル（デシベル）												風速 (m/s)	
L ₅			L ₅₀			L ₉₅			L _{max}				
平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	最小	最大
74	72	80	72	70	77	69	67	74	82	76	103	0.0	0.6

注：1. 平均値は算術平均値である。

注：2. 作業時間帯（午前9時から午後6時までの間）の結果を表している。

低周波空気振動調査結果総括表[令和3年10月分]

調査地点：大阪南港野鳥園

調査日：令和3年10月26日～27日

調査 時間	音圧レベル (デシベル)				風速 (m/s)	
	L ₅	L ₅₀	L ₉₅	L _{max}	最小	最大
12:00	74	71	67	76	0.0	0.2
13:00	80	75	71	85	0.0	0.0
14:00	74	71	69	80	0.0	0.0
15:00	77	74	71	80	0.0	0.6
16:00	72	77	74	103	0.0	0.6
17:00	74	71	69	80	0.1	0.4
18:00	72	69	67	75	0.0	0.2
19:00	69	67	64	74	0.0	0.1
20:00	68	66	64	72	0.0	0.1
21:00	68	66	63	73	0.0	0.0
22:00	66	64	62	74	0.0	0.0
23:00	67	64	62	71	0.0	0.0
0:00	68	66	64	75	0.0	0.0
1:00	66	64	62	70	0.0	0.0
2:00	67	65	63	71	0.0	0.0
3:00	68	66	64	70	0.0	0.0
4:00	68	66	64	71	0.0	0.0
5:00	72	70	68	77	0.0	0.0
6:00	73	71	68	76	0.0	0.0
7:00	74	71	69	77	0.0	0.0
8:00	73	71	69	77	0.0	0.1
9:00	73	71	68	77	0.0	0.4
10:00	73	70	68	80	0.0	0.0
11:00	74	72	69	79	0.0	0.2
最小値	66	64	62	70	0.0	0.0
最大値	80	77	74	103	0.1	0.6
平均値	71	69	67	77	0.0	0.1